

旧東条中学校天体望遠鏡の取り扱いについて

1 旧東条中学校 天体望遠鏡の経緯（前回）

- ・天体望遠鏡の歴史（H11年天体観測ドーム改修、天体望遠鏡の新調、天体観測会）とそこに関わってきた卒業生、PTA、地域の方々の思いは大切にしたいこと
- ・ドームと天体望遠鏡は、H19年以降永らく使用されていない状況であること
ドームは屋根が開かない、天体望遠鏡はレンズ一面にカビが発生している状況であり、修復、修理は難しい状況であること
- ・天体望遠鏡を利用する学習は、黒点の観測の年間1～2時間のみであり、現在は他の天体望遠鏡で対応できていること

【天体ドーム及び天体望遠鏡の写真】



筒幅 130 cm

望遠鏡高さ 180 cm

土台支柱幅 80 cm

2 協議事項

①パネル展示する案について

前回、事務局から「旧東条中学校時代の教育活動の記録として、ドーム及び天体望遠鏡を写真撮影してパネルにし、展示してはどうか。」という案を出させていただいた。この案についてご意見をお聞かせいただきたい。

パネル仕上げ例：ミュージアム仕上げ※

A2 サイズ 604mm×400mm

展示場所：地域交流室 ピクチャーレールを取り付け
地域交流室壁に展示



※ミュージアム仕上げ
写真展で人気の高いプロフェッショナル仕上げ 貼付面と台座のセット

②天体望遠鏡本体について

R4年7月から旧東条中学校校舎は解体される予定である。天体望遠鏡本体の取り扱いについてご意見をお聞かせいただきたい。